

保存版

災害時

大規模な災害が起こったら、起こりそうなら

大住中学校

避難行動・避難所運営マニュアル

大住ヶ丘連合自治会・花住坂自治会

あなたの避難所は

大住中学校

です。




大住中学校避難所運営協議会

基本的な考え方

- 1 災害時には、一人ひとりの自助を基本とします。
- 2 住民主体の避難、避難所開設・運営を目指します。
- 3 避難所は災害時の地域コミュニティの支援拠点と考え、準備、運営します。
- 4 要配慮者及び男女共同参画の視点にも十分配慮し、すべての人にやさしい避難所づくりを目指します。

災害時要配慮者を優先に、誰もが配慮し合うことが大切です。

災害時要配慮者とは



高齢者 迅速に避難することが困難なことが予測されます

障がいのある人 視覚、聴覚、肢体、精神、知的、内部等の障がいのある人

在宅療養者、透析が必要な人、糖尿・高血圧などの疾患をもつ人

乳幼児・妊婦 乳幼児を連れて逃げるのが困難です

外国人 言葉が通じないことが想定されます

配慮し合えること

- ① 声かけ ② 情報伝達
- ③ 避難支援 ④ 被災生活支援

要配慮者に配慮した運営

- 食事や物資の配給、情報提供方法やトイレの利用など、高齢者や障がいのある人、乳幼児、妊婦など要配慮者への配慮が大切
- プライバシー確保への配慮が必要であると同時に、孤立化を防ぐための見守りの工夫が大切
- 要配慮者自身が「要配慮者」であることをわかるよう示すことも必要

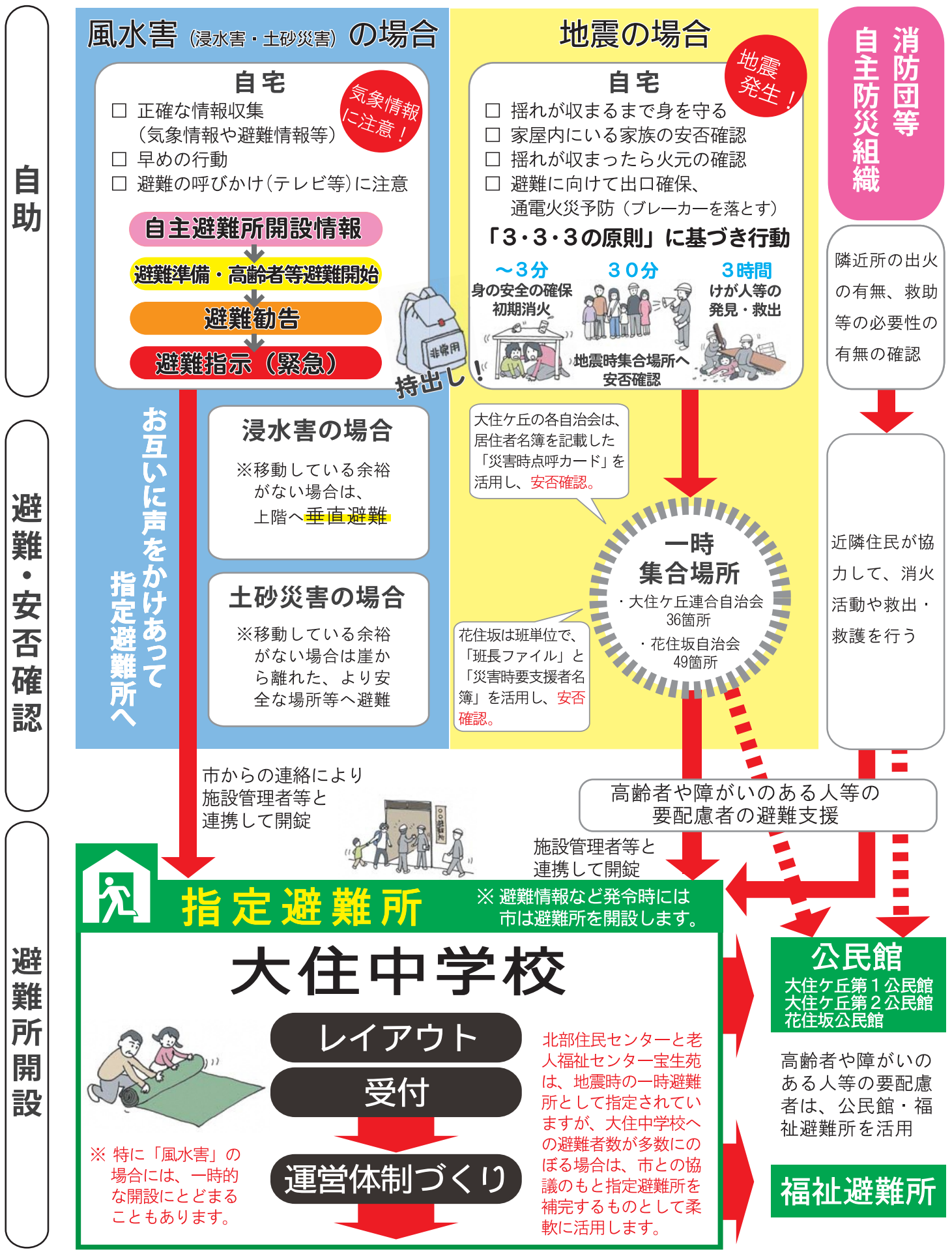
男女共同参画の視点に配慮した運営

- 男女それぞれのニーズの違いに配慮した安全・安心・快適空間づくり
⇒ 女性をはじめ、性的マイノリティ（LGBT）等、要配慮者に配慮した避難所づくりを目指すことで、被災者全員が少しでも快適に避難所生活を営むことができるよう心がけましょう。

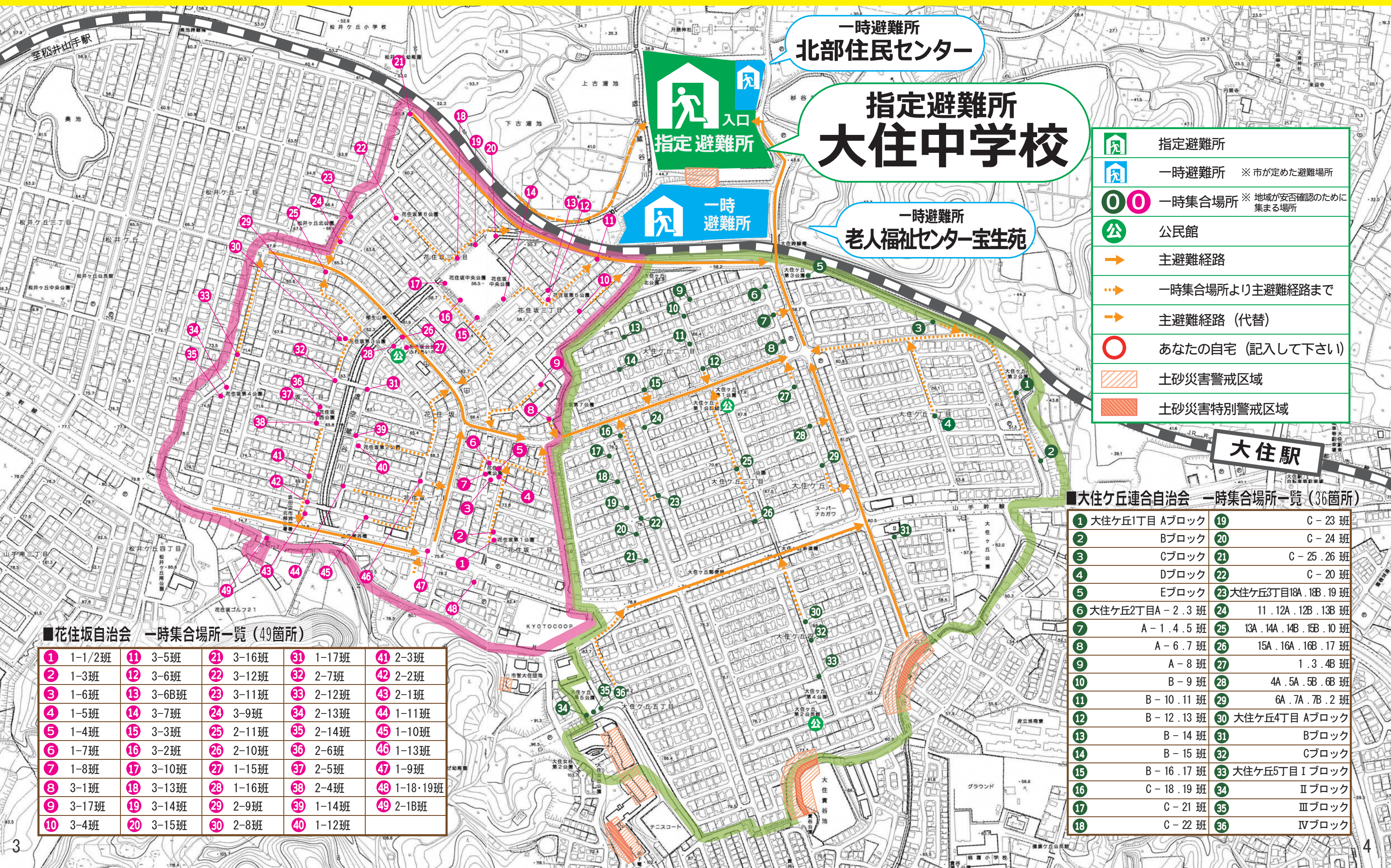
LGBT：女性同性愛者Lesbian、男性同性愛者Gay、両性愛者Bisexual、そしてトランスジェンダーTransgenderの頭文字を用い、これらの人々をまとめた呼称

避難

災害が発生した時の避難行動の手順です。
災害時に速やかに行動がとれるように、「風水害（浸水害、土砂災害）」と「地震」の場合の避難行動の手順を、日頃から確認し合っておきましょう。



指定避難所「大住中学校」



一時避難所
北部住民センター

指定避難所
大住中学校

指定避難所
大住中学校

一時避難所

一時避難所
老人福祉センター宝生苑

- 指定避難所
- 一時避難所 ※ 市が定めた避難場所
- 一時集合場所 ※ 地域が安否確認のために集まる場所
- 公民館
- 主避難経路
- 一時集合場所より主避難経路まで
- 主避難経路 (代替)
- あなたの自宅 (記入して下さい)
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

大住駅

■大住ヶ丘連合自治会 一時集合場所一覧 (36箇所)

| | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1 大住ヶ丘1丁目 Aブロック | 19 C-23 班 |
| 2 Bブロック | 20 C-24 班 |
| 3 Cブロック | 21 C-25 .26 班 |
| 4 Dブロック | 22 C-20 班 |
| 5 Eブロック | 23 大住ヶ丘3丁目18A .18B .19 班 |
| 6 大住ヶ丘2丁目A-2 .3 班 | 24 11 .12A .12B .13B 班 |
| 7 A-1 .4 .5 班 | 25 13A .14A .14B .15B .10 班 |
| 8 A-6 .7 班 | 26 15A .16A .16B .17 班 |
| 9 A-8 班 | 27 1 .3 .4B 班 |
| 10 B-9 班 | 28 4A .5A .5B .6B 班 |
| 11 B-10 .11 班 | 29 6A .7A .7B .2 班 |
| 12 B-12 .13 班 | 30 大住ヶ丘4丁目 Aブロック |
| 13 B-14 班 | 31 Bブロック |
| 14 B-15 班 | 32 Cブロック |
| 15 B-16 .17 班 | 33 大住ヶ丘5丁目 I ブロック |
| 16 C-18 .19 班 | 34 II ブロック |
| 17 C-21 班 | 35 III ブロック |
| 18 C-22 班 | 36 IV ブロック |

■花住坂自治会 一時集合場所一覧 (49箇所)

| | | | | |
|----------|----------|----------|----------|--------------|
| 1 1-1/2班 | 11 3-5班 | 21 3-16班 | 31 1-17班 | 41 2-3班 |
| 2 1-3班 | 12 3-6班 | 22 3-12班 | 32 2-7班 | 42 2-2班 |
| 3 1-6班 | 13 3-6B班 | 23 3-11班 | 33 2-12班 | 43 2-1班 |
| 4 1-5班 | 14 3-7班 | 24 3-9班 | 34 2-13班 | 44 1-11班 |
| 5 1-4班 | 15 3-3班 | 25 2-11班 | 35 2-14班 | 45 1-10班 |
| 6 1-7班 | 16 3-2班 | 26 2-10班 | 36 2-6班 | 46 1-13班 |
| 7 1-8班 | 17 3-10班 | 27 1-15班 | 37 2-5班 | 47 1-9班 |
| 8 3-1班 | 18 3-13班 | 28 1-16班 | 38 2-4班 | 48 1-18 .19班 |
| 9 3-17班 | 19 3-14班 | 29 2-9班 | 39 1-14班 | 49 2-1B班 |
| 10 3-4班 | 20 3-15班 | 30 2-8班 | 40 1-12班 | |

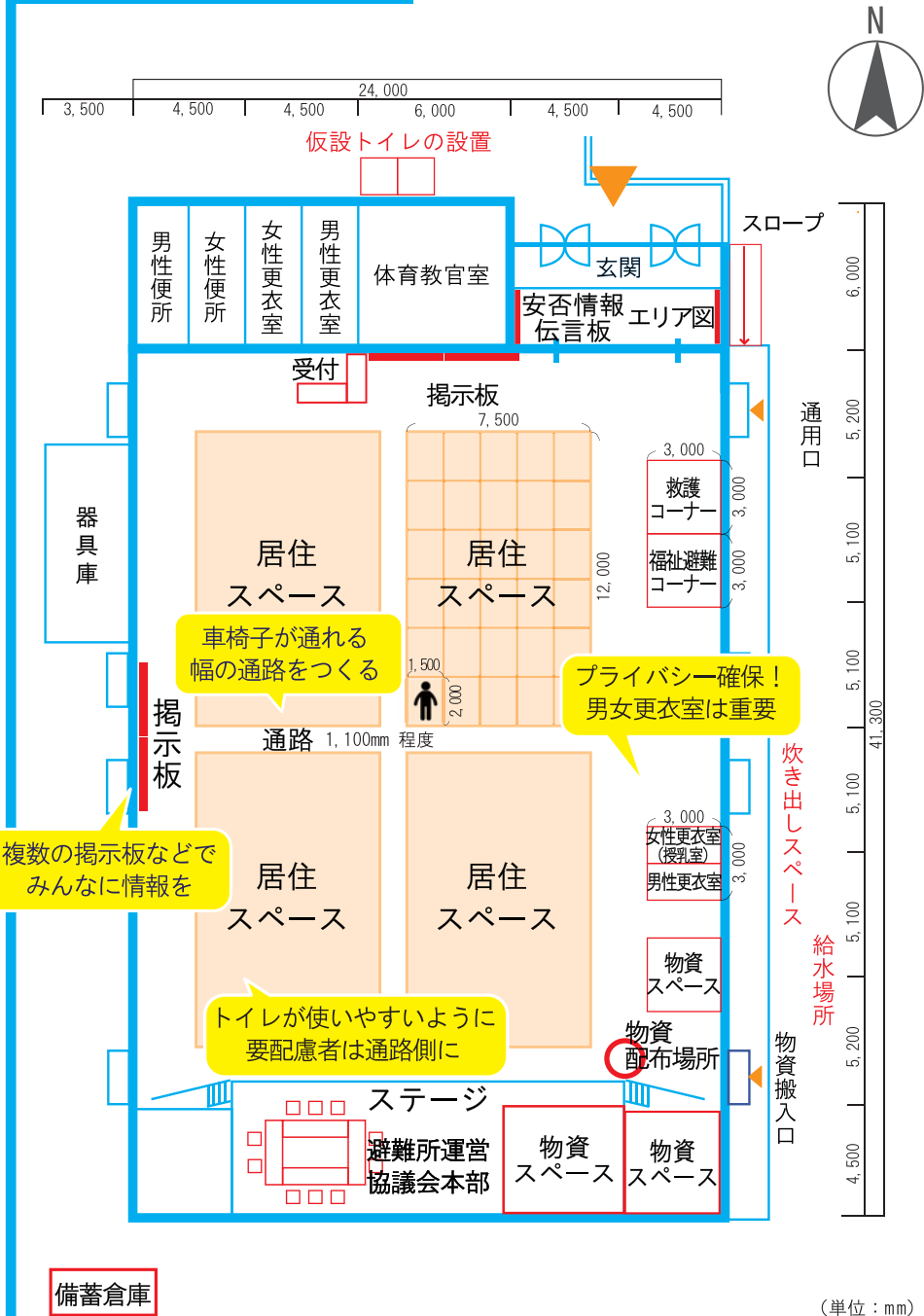
避難者を受け入れる前に、施設のレイアウトづくりを行います。事前に決めておきましょう。

受付は、区・自治会単位の人数を確認し、避難者の名簿づくりを進めます。

レイアウトづくり

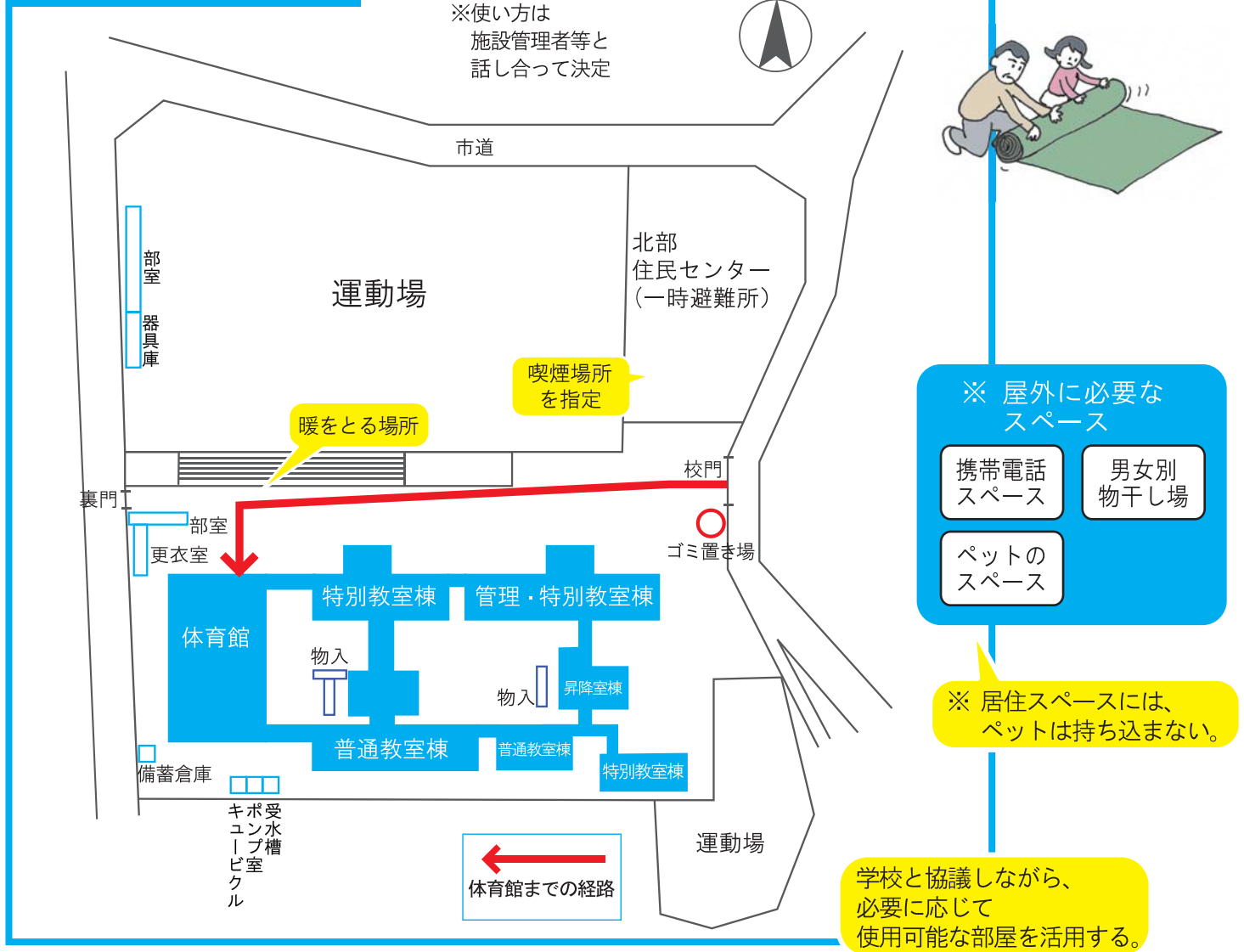
- ☐ 使用可能施設・使用除外施設を確認。場合によっては、現場で施設管理者等と確認
- ☐ 主な避難場所となる施設において、安全確認後、レイアウトづくり
- ☐ 車で避難してくる避難者への対応や搬送車など車両の受入場所の確保
- ☐ グラウンドの活用を検討

大住中学校体育館

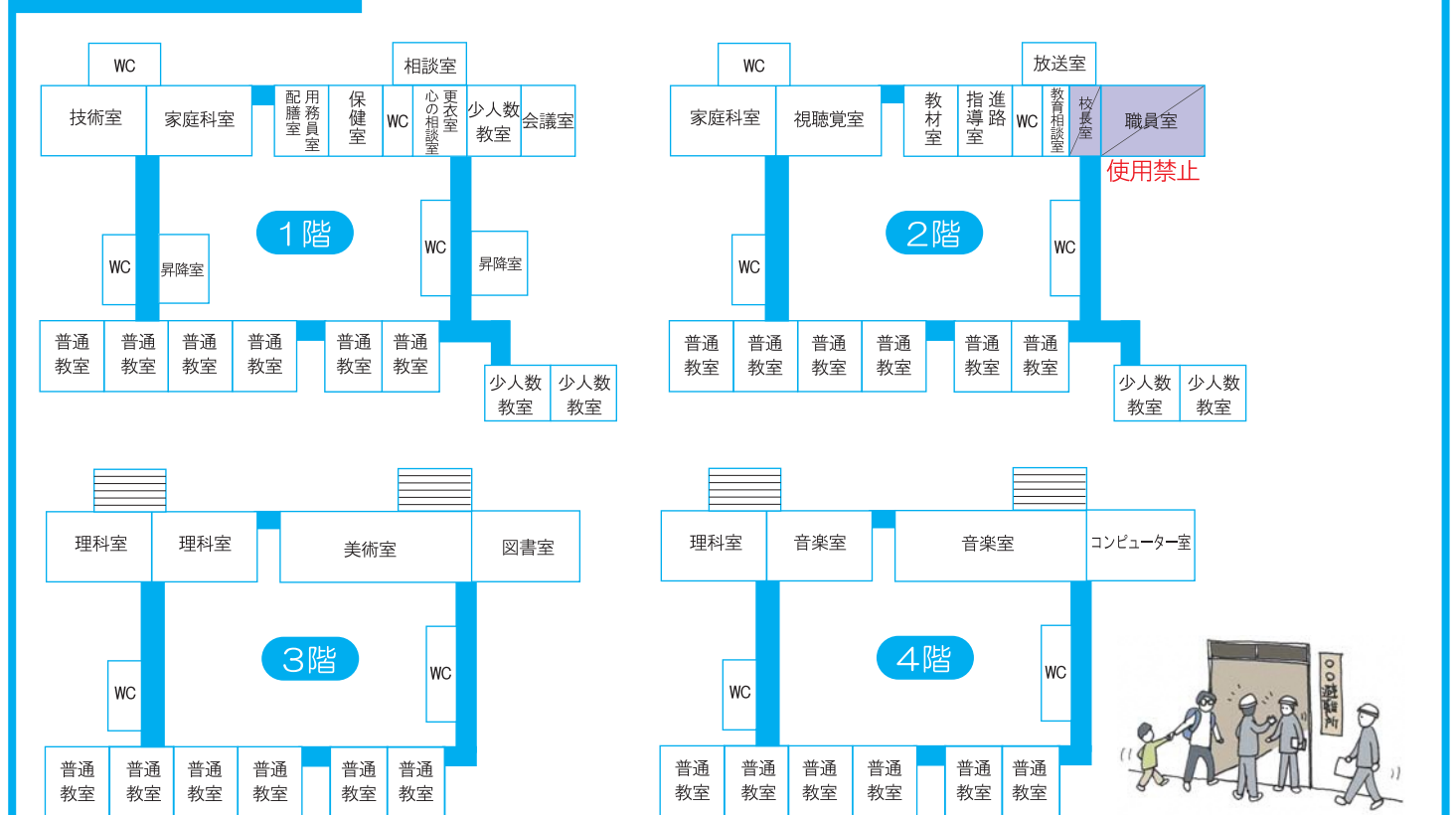


- ## ●個室を確保すべきスペース
- * 避難所運営協議会本部
 - * 物資スペース
 - * 救護コーナー
 - * 福祉避難コーナー
 - ／感染症対策室
 - ／体調不良者等一時休憩スペース
 - ／子ども、親子で安心して遊べる部屋
 - * 災害時対応電話・携帯電話のブース
- ## ●その他配慮すべきこと
- * 出入口等にスロープ配置
 - * トイレの目隠しなどの配慮
 - * 女性用の洗濯物干場の確保
 - * 他地域の方の受入など、地域外の方のスペース確保
 - * 盲導犬への配慮

大住中学校配置図



各階平面図



運営

大切な9つの管理を
役割分担して避難所を運営します。

1. 避難者の受付・名簿づくり

受付・名簿づくりは、まず避難者の概算人数をとりまとめ、一定落ち着いた段階で、避難者の概要を把握します。



一時集合場所に集合し、安否確認を行った後、受付を事前に行ってから集団で指定避難所（大住中学校）へ避難。

【大住ヶ丘連合自治会】

班長等は、各自治会の居住者名簿等を記載した各自治会が作成している「災害時点呼カード」等を活用して地域住民の安否及び被害状況等を確認する。

各自治会が作成している
災害時点呼カード

【花住坂自治会】

花住坂自治会は、一時集合場所に班単位で「班長ファイル」と「災害時要支援者名簿」を活用し、安否確認を行う。

安否確認表等



2. 運営協議会設置

運営にあたってのポイント

避難所生活のルール
をつくり周知

避難所において避難者に守ってもらいたいルールを話し合い、決定します。

情報は常に
“見える化”

情報が適切に伝わらないことがトラブルの原因になりますので、常に“見える化”を！

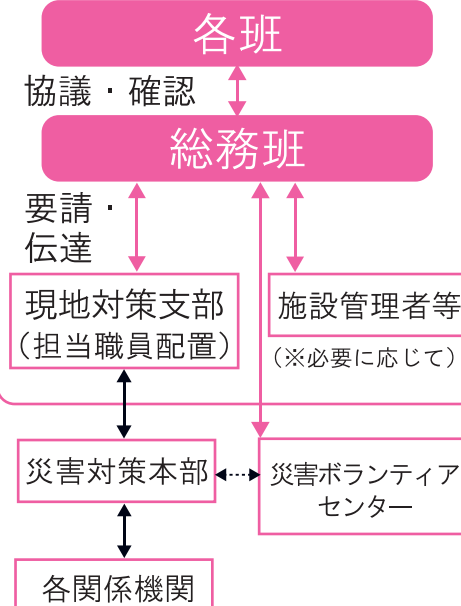
在宅被災者
にも配慮

避難所は、食料などの物資や各種情報の提供場所であり、在宅被災者も含めた支援拠点となります。

※ 発災直後は、状況に応じて、混乱する避難者をまとめるリーダー的存在により対応を進めることが必要な場面もありますが、一定落ち着いた段階からは、班体制を組み、組織的に避難所の運営を行うことが大切です。

行政責任のもと原則として
住民の自主運営

運営協議会



運営にあたって必要な班体制とその役割

| 班名 | 担う管理 | 役割 |
|---------------|--------------|----------------------------------|
| 総務班 | 総務 | 体制づくりなど総務・統括管理 |
| 管理班 ※防犯も担う | 空間 | レイアウトづくりなど空間管理 |
| | 人員 ボランティア | 避難者の名簿や入退所などの管理 応援ボランティアなどの管理 |
| 情報班 | 情報 | 様々な情報の収集・提供などの管理 |
| 衛生班 | 衛生 | 避難所の衛生管理 |
| 救護・要配慮者班 | 健康 | 避難者の健康管理 |
| 食料班 | 食料 | 避難者の食料管理 |
| 物資班 | 物資 | 備蓄や救援物資などの管理 |



- ※ 必要に応じて班構成を細分化します。
- ※ 班長は班内で交代制にして、5日間程度でローテーションするなど工夫します。
- ※ 避難所運営協議会へ女性も参加できるように配慮しましょう。
- ※ 看護師や介護士などの有資格者や民生児童委員、福祉関係者など、避難者の中から専門的な知識・技術をもった方の協力を求めましょう。
- ※ 避難者の中から、学生の若い力の活用を積極的に図りましょう。

運営体制

－ 大住中学校避難所運営協議会 －

花住坂自治会班と大住ヶ丘連合自治会班が共同で、地域住民主体の運営協議会を設置し、避難所における課題への対応や、花住坂自治会、大住ヶ丘連合自治会、現地対策支部との連携など、自主的で円滑な運営を進めます。



| 班名 | 担う管理 | 担 当 | | | 役割 |
|----------------|--------|--------------------------|----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| | | 大住ヶ丘連合自治会 | | 花住坂自治会 | |
| | | 責任者 | 連合自治会担当者 | | |
| 総務班 | 総務 | 正：会長 副：副会長 | 1～5丁目 自治会の総務部 | 花住坂自治会長 総務部長、安全対策部長、 自主防災代表 | 市及び関係機関との連携・体制づくりなど総務・統括管理 |
| 管理班 ※ 防犯も担う | 空間 | 正：議長 副：環境（防災） 管理部長 | 1～5丁目 自治会の環境（防災） 管理部 | 総務部員、 安全対策部員、防災員 | レイアウトづくりなど施設 設置・管理 |
| | 人員 | | | | 避難者の名簿や入退所などの 管理 |
| | ボランティア | | | | 応援ボランティアなどの管理 |
| 情報班 | 情報 | 正：事務局長 副：総務部長 | 1～5丁目 自治会の総務部 | 安全対策部員、防災員 ※ 公民館連絡班 | 避難所や災害に関する情報の 収集・提供などの管理 |
| 衛生班 | 衛生 | 正：会計 副：社会福祉部長 | 1～5丁目 自治会の社会福祉部 | 環境衛生部 | 食事提供時の消毒、ゴミ箱 の設置などの衛生管理 |
| 救護・ 要配慮者班 | 健康 | | | 福祉部 | 避難者・要配慮者の健康状態 などの健康管理 |
| 食料班 | 食料 | 正：文化部長 副：体育部長 | 1～5丁目 自治会の文化・体育部 | 体育部、文化部 | 避難者の食事提供などの食料 管理 |
| 物資班 | 物資 | | | 公民館管理、防災員 | 備蓄や救援物資などの確認、 配給の管理 |

※ 役割は避難所に避難した自治会役員が任につく。

－ 大住ヶ丘連合自治会（公民館避難所）－

| 拠点 | 担当自治会 | 担う機能 | 担当 | 主な業務 |
|-------|-------|-------|-----------------|--------------------------------|
| 第1公民館 | 1～3丁目 | 総括 | 各自治会副会長 | 避難所の総括管理 |
| | | 総括補佐 | 各自治会の 議長・会計 | 避難者・自宅避難の 状況確認 |
| | | 救護 | 各自治会 社会福祉部 | 応急活動と避難者・ 自宅避難の救護 |
| | | 連絡・伝達 | 各自治会の 総務部 | 公的機関、大住中避難 所、自宅避難者等との 連絡 |
| | | 食料・物資 | 環境防災部 文化・体育部 | 避難所・自宅避難者 への食料物資の配布 |
| 第2公民館 | 4～5丁目 | 総括 | 各自治会副会長 | 避難所の総括管理 |
| | | 総括補佐 | 各自治会の 議長・会計 | 避難者・自宅避難の 状況確認 |
| | | 救護 | 各自治会 社会福祉部 | 避難者・自宅避難の 救護 |
| | | 連絡・伝達 | 各自治会の 総務部 | 公的機関、大住中避難 所、自宅避難者等との 連絡 |
| | | 食料・物資 | 環境防災部 文化・体育部 | 避難所・自宅避難者 への食料物資の配布 |

※ 役割担当は各公民館避難所に避難した自治会役員が任につく。

－ 花住坂自治会（公民館）－

| 班名 | 担当 |
|--------|-----------|
| 公民館連絡班 | 公民館管理・防災員 |

準備

想定災害と避難所の確認 / 天災は忘れた頃にやって来る

自分の地域の風水害（浸水害、土砂災害）の場合と地震の場合の災害想定を「京田辺市洪水ハザードマップ」「京田辺市地震ハザードマップ」等で確認しておきましょう。

地域内でコミュニケーションを図りましょう。



日頃からの訓練で体制づくりを考えましょう。



地域の特徴をよく知っておきましょう。



みんなで災害時要配慮者への配慮を心がけましょう。



※災害用リヤカー等を活用

非常持出袋の用意

避難時に持ち出せる非常持出袋を用意しましょう。

【非常持出袋の例】 ※ 必要最小限で1日程度をしのぐため

- ☐ 食料 [例・缶入り乾パン110g 1個]
- ☐ 飲料水 [1～3リットル ※持てる重さによる]
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 軍手・手袋
- ☐ タオル
- ☐ ポリ袋
- ☐ 救急袋
- ☐ 筆記用具
- ☐ 新聞紙
- ☐ ラップフィルム
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ サバイバルブランケット
- ☐ 呼び笛
- ☐ 個人的な必需品（メガネ、コンタクトレンズ、入れ歯、持病薬、持病対応食品、貴重品など）

NTT災害用伝言ダイヤル（171）等を活用し、家族で連絡を取り合う方法を事前に決めておきましょう。



あると便利なものではなく、
「ないと困るもの」
を忘れずに！

備蓄品の用意

避難後に少し余裕が出てから安全を確認して自宅に戻り、避難所へ持ち出したり、また自宅で避難生活を送る上で必要な3日分程度、できれば1週間分を備蓄しておきましょう。（※避難所には最低限の物資しか備蓄されていません。）

- ☐ 食料（アルファ化米、インスタントラーメン、缶詰類、レトルト食品、ビスケット、チョコレートなど）
- ☐ 飲料
- ☐ 生活用品（タオル、バスタオル、毛布、卓上コンロ、ガスボンベ、簡易トイレ、体ふきシート、ドライシャンプー、新聞紙、ラップフィルム、使い捨てカイロなど）

緊急医療情報キット

救命救急を迅速に行うための取り組みです。
あわせて備えておきましょう。



「京田辺市防災情報メール」
配信サービスに登録を！

市から
防災情報を
メールで
お届けします！
（携帯サービス用QRコード）

